

A vibrant graphic design featuring three young children smiling and waving. The background is a bright blue sky with stylized, colorful abstract shapes in shades of cyan, green, and yellow. The children are dressed in casual clothing. The overall mood is cheerful and energetic.

ミ
ラ
イ
ナ
カ

那賀町町勢要覧

ミライナカ

みらいのなか、那賀町

周囲に広がる森林と山々、

澄んだ水をたたえた那賀川の清流。

見渡す限り雄大な自然があふれる那賀町では、

豊かな風景と地域の温かさを残しつつ

デジタルなどの新たな技術を取り入れています。

そして、そこに暮らす住民の

住みやすさや働きやすさのために、

様々な取組を進めています。

自然と新しい技術が調和した那賀町は、

未来へ向かうまっただなかです。

P3

自然ひろがる みらいのなか



町長ご挨拶

那賀町は、平成17年3月に四国で一番大きい「町」として誕生し、令和7年3月に町制20周年を迎えることができました。これもひとえに町民をはじめ、本町を支えてくださった皆様のおかげであり、感謝申し上げます。本町は、合併以来、自然豊かな地域の魅力と人々の温かな絆に支えられながら歩み続けてきました。いつも私たちのそばに流れる那賀川のように、町の営みも激動の時代を乗り越え、次世代へとつながる道を切り開いてきました。しかしながら、現在、人口減少や社会経済情勢の変化など、本町を取り巻く環境は大きく変貌しております。このような情勢の中、それらの課題に真直面から取り組み、那賀町の明るい未来を創るために策定した「那賀町みらい創造総合戦略」を推進するとともに、これからも自然の恩恵を守り抜きながら「町民からも町外の方からも、那賀町のこと大好き！」と思ってもらえるまちづくりを目指し、「もっと住みやすく、もっと働きやすい町」にまいります。

この要覧を通じて、那賀町をより深くご理解いただき、那賀町の更なる発展にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



那賀町長
橋本 浩志



P23

未来へ導く
みらいのなか



P19

安心・安全・快適な
みらいのなか

P15

若者が希望を持てる
みらいのなか



P9

にぎわいあふれる
みらいのなか



P5

働く人が輝ける
みらいのなか



25 那賀町みらい創造総合戦略
31 那賀町20年のあゆみ
33 NAKA MAP

自然ひろがる みらいのなか

自然風景

四国山地の山々に囲まれ、
那賀川の流れと共にある那賀町には
季節によって姿を変え、
雄大な自然が広がっています。



大釜の滝

釜ヶ谷溪谷に流れ落ちる落差約20mの滝で、日本の滝百選にも選ばれています。季節ごとに表情を変え、特に紅葉の時期は息をのむ美しさになります。



驚敷ライン

急流による怪石が並ぶ那賀川の溪流で、阿波ノ八景十二勝の一つ。カヌー競技の会場としても知られています。



歩危峡 (ほききょう)

那賀川の蛇行した流れが目をはく美しい峡谷で、国道脇の数か所から湧く「歩危峡の湧水」が有名です。



那賀川

那賀町の中央を東西に流れる徳島県下最長の一級河川。水質が良い清流で、アユやアメゴなどが生息しています。



高の瀬峡 (こうのせきょう)

那賀川上流に広がる、深いV字型を特徴とした渓谷。激しい気温差により濃い色づきが楽しめる紅葉の名勝地としても知られ、日本の紅葉100選にも選ばれています。



川口ダム湖畔

川口ダム湖の周遊コースにソメイヨシノなど約1,000本の桜が咲き誇り、ダム湖面に映る桜を楽しめます。

徳島県南部に位置する那賀町は、四国山地と海部山脈に囲まれ、その山間を那賀川をはじめとする清流が流れています。急峻な山地が生み出す渓谷や滝の数々も見事で、景勝地として多くの人が訪れます。また、希少な植物や色とりどりの草花、季節によって装いを変える山々などの大自然を満喫することができます。

那賀町に広がる、美しい自然風景が見せる様々な姿は、四季の移ろいを伝え、訪れる人々を癒しています。

**移ろいを見せる
美しい自然環境**



剣山スーパー林道

徳島県上勝町から那賀町木頭まで続く、延長87.7kmにわたる日本有数の林道。剣山系の雄大な景観が広がります。

那賀町の希少な植物 (神領ユリ、タヌキノシヨクダイ、ナカガワノギク、ドウダンツツジ等)



剣山国定公園

剣山地に広がる国定公園で、剣山スーパー林道や高の瀬峡などが点在。令和6(2024)年に指定60周年を迎えました。

働く人が輝ける みらいのなか

林業

那賀町で古くから盛んに行われてきた林業。過去から現在、そしてこれからの未来も豊かな森林と共生していきます。



チップ工場

間伐材や木くずなどをチップ化し、バイオマス発電の燃料に加工することで森林資源の有効活用を進めています。

木頭杉

芯材(赤身)が非常に美しく、滑らかな木目があり、香りや断熱性・調湿性に優れることから、高く評価される高品質なブランド材です。



那賀町林業ビジネスセンター
那賀町の林業関連情報を一元化し、森林経営を支援。町産材を使用した建物で、研修や交流の場として幅広く利用されています。



那賀町林業従事者会「山武者」
町内企業や森林組合に勤める20～30代が中心のグループ。林業の担い手育成を目的に体験イベントや講演などを行っています。

森林と共生する 那賀町の林業

総面積のうち、約95%を森林が占める那賀町。古くから林業が基幹産業として盛んに行われてきましたが、人口減少や外材の輸入などにより停滞。そこで、「那賀町森林づくりビジョン」を策定し、森林資源を活用した産業振興に取り組んでいます。

近年では、関連施設の創設や担い手確保、バイオマス化の取組やドローンの活用などを進めており、森林と共にある那賀町の林業の姿を継承しています。

ミライ・那賀

ドローンを使った 林業実証実験

那賀町では、山間部が広がる特性を活かし、急峻な森林での資材運搬や作業支援など、林業の現場を想定したドローン活用の検証を行っています。実証実験を通して、ドローンの安全な運用方法や実用性を確認し、地域産業でドローン技術の定着と活用拡大をめざしています。



那賀高等学校森林クリエイト科
森林を創造的に学ぶ県内唯一の単独学科。町内の森林をフィールドに、実践的な森林施業や資源の利活用など、持続可能な循環型社会の形成に向け学習しています。



木づかい住宅等支援事業

町産材を使った住宅の新築やリフォームを支援する制度。費用の一部を助成し、林業の活性化を進めています。

那賀町林業テクノスクール

林業や建設機械などの様々な技術を学ぶ職業訓練施設。機械の操作や資格取得をめざしたカリキュラムも整備されています。



アグリステーションNAKA

30代の農業後継者を中心に技術向上や地域貢献をめざし、子どもの農業体験などを通じた生産者同士のつながりを築いています。



木頭ゆず

木頭地区を中心に古くから栽培されてきた在来種のゆずで、那賀町は全国有数の産地として知られています。

働く人が輝ける みらいのなか



生け花体験教室

相生小学校の6年生を対象に相生おもとを使用した生け花教室を実施。地元の特産品に触れる機会となっています。



相生おもと

相生地区で生産されるものを「相生おもと」と呼び、品質・生産量共に日本一です。



ケイトウ

ケイトウ栽培が盛んで、お盆や彼岸用の切り花として京阪神へ出荷されます。



わじきイチゴ

驚敷地区を中心に「さちのか」などの品種のいちごが栽培されています。



相生晩茶

主に相生地区で受け継がれる伝統的な発酵茶。茶葉を桶に漬けて発酵させ、天日干しする独特な製法が特徴的な阿波晩茶の一つです。

全国的に有名な「木頭ゆず」をはじめ、おもとやケイトウなどの花き、晩茶や稲作などが盛んです。また、生産者同士のつながりや新規就農者への手厚い支援も行っています。このような農業を支える人々と豊かな自然によって、重要な産業として発展を続けています。

自然を活かした
那賀町の農業

稼ぐ観光



木頭ゆずを使った商品開発
木頭ゆずを活かしたジュースや
スイーツ、調味料などを地域ブラン
ドとして開発・発信しています。

地域の魅力を高める
那賀町の観光

雄大な自然環境をはじめ、
温泉やジビエグルメ、多種多様
なお土産などコンテンツが豊富
にある那賀町。それらの資源を
活用した観光を展開していま
す。既存資源のPRや新たな商
品開発などに取り組んでおり、
近年ではDMOとの連携を進
めています。

資源の磨き上げや町内外で
の連携によって観光を活性化さ
せ、地域の魅力をさらに高めて
います。

宿泊

自然を体感しながら滞在できる、
温泉旅館やキャンプ場などの多
様な宿泊施設を整備しています。



観光

農業

グルメ



那賀町に広がる山や川の自然を活か
し、鹿肉や川魚を使ったジビエ料理な
どの個性豊かなグルメが楽しめます。

那賀町の気候風土をはじめ
環境や特徴を活かした資源、
それらを支え、盛り上げる人々によって
地場産業を活性化しています。

お土産

木頭杉を使った木工品をはじめ、
相生晩茶や山菜の漬物など、
地域の素材と文化が詰まっ
たお土産をそろえています。



映える



一面を覆う雲海や満天
の星空など、山間の地
域だからこそ見ること
ができる「映える」自然景
観が広がっています。



DMO連携による 戦略的な観光振興

一般社団法人みなみ阿波観
光局と連携した広域的な観光
戦略を推進。ドローンやスマ
ート回廊エリア、林業などの
地域資源を観光コンテンツと
して磨き上げています。また、
事業者向けの人材育成なども
実施し、地域の「稼ぐ力」を
高め、持続可能な
地域経済をめざ
しています。



ミライ・那賀

mirai・naka



PROFILE

移住して10か月

まっさ
真継さんご家族

京都府長岡京市から自然豊かな那賀町に移住。ラフティングを中心に地域おこし協力隊としても活動中です。

にぎわいあふれる いのなか 移住

里山の自然と共に、
おだやかな日々を送れるまち。
那賀町には、住むほどに
惹かれる魅力があります。



移住する前は、京都府亀岡市でラフティングガイドを10年ほどしていました。妻の祖父母が住んでいた空き家が那賀町にあり、移住を考えた時にちょうど地域おこし協力隊の募集があったので移住を決めました。

那賀町での暮らしは穏やかで温かいです。近所の方々がとても親切で、野菜をくれたり子どもと遊んでくれたりと、人の温もりが近くにあるので、子育てでも安心して過ごせています。また、子育て支援が手厚く、「ふる里留学制度」の補助金は経済的な支えになっています。

仕事は、主に地域おこし協力隊で豊かな自然などの地域資源を活かしたアクティビティ開発を行っており、那賀川などで前職の経験を活かした仕事ができています。これからやりたいことは、5〜10月のラフティングインストラクターに加えて、冬にゆずやスタチを栽培をしようと考えています。また、副業として妻と古着屋をやって、一年を通して仕事ができるようにしたい。そして、地域おこし協力隊の卒業後も安定した生活が送れるように基盤を整えていきたいです。また、子どもたちが移住前にはできなかったことを、一緒に楽しんでいきたいです。



夕方は必ず家族そろって食事をして、ゆっくり過ごしています。



ラフティングインストラクターや役場で事務作業などを行っています。



朝は子どもたちを見送り。時間が合えばこども園に送迎もしています。

那賀町で暮らす 真継さんの一日



移住交流支援センター

みらいデジタル課内に設置された窓口で、空き家バンクやおためし住宅の案内など移住関連の相談をワンストップで対応しています。

ミライ・那賀

地域を超えて結婚を支える「那賀町縁むすびの会」

町内ボランティアを中心とした「那賀町縁むすびの会」が、結婚を希望する独身者を支援しています。結婚相談やお見合い、少人数の婚活イベントなどを開催し、出会いの場を提供。当初は那賀町在住者が対象でしたが、現在では町内外問わず支援し、婚活の輪を広げています。



mirai・naka

那賀町おためし住宅



町内3か所に整備された、移住希望者が那賀町での暮らしを体験できる施設。1か月から最長2年までの滞在を通して、地域での生活環境を確かめられます。

■平野シェアハウス

相生地区にある、休園した平野幼稚園舎を改修した単身者向けのシェアハウスです。

■木沢移住支援施設

木沢地区にある一戸建て住宅で、単身者に加え家族で利用することも可能です。

■桜谷シェアハウス

上那賀地区の桜谷集落にある、寮を改修した2階建の単身者向けシェアハウスです。

ふる里留学制度



少子化対策として令和4(2022)年4月に始まった制度。小学1年生から中学3年生までの児童生徒を対象に、1人につき月額4万円の補助を支給します。

■ふる里帰帰留学

町外に住む那賀町出身者の子どもが町内の学校へ通い、地域とのつながりを育む制度。

■ふる里創り留学

那賀町へ移住した家庭の子どもが条件を満たせば、月額4万円の補助を受けられる制度。

■山村留学

都市部など町外に住む子どもが町内の学校に通い、山間の暮らしを体験できる制度。

にぎわいあふれる みらいのなか



イベント 伝統行事

長い歴史を持つ伝統行事から、新しく企画されたイベントまでバラエティ豊かな行事によって一年が彩られています。

一年を彩る 多様なイベント

那賀町では、一年を通して楽しめる多種多様なイベントを開催しています。国指定文化財となつている伝統行事や祭事、四季の花々を楽しむ季節の祭り、国内最古の野外音楽フェスなど、老若男女すべての人が、思い思いの楽しみ方で満喫することができます。

歴史・文化から自然、音楽まで楽しめる様々なイベントによつて、一年を通してにぎわいを生み出しています。

7
Jul.



木頭杉一本乗り大会
那賀町の特産でもある木頭杉。その搬出方法として古くから伝わる技法「一本乗り」を競技として復活させたイベントです。

1
Jan.



那賀町健康マラソン大会
3kmと5kmの2コースが設定された新春恒例の大会。健康づくりと交流を目的に開催しています。

4
Apr.



もみじ川温泉さくらまつり
桜が見頃の時期に開催される恒例イベント。ステージでのパフォーマンスやマルシェなどが行われます。



吹筒煙火
竹筒に火薬を詰めて火の粉を吹き上げる伝統的な花火で、県の無形民俗文化財に指定されています。



相生まつり
まちづくりの一環として毎年7月に開催される夏祭り。吹筒煙火が夜空を彩り、地域の伝統を継承しています。

7
Aug.

農村舞台

阿波人形浄瑠璃の奉納に用いられた農村舞台が複数残されており、地域の文化資産として保存されています。



7 5 4 1

- 那賀町健康マラソン大会
- もみじ川温泉さくらまつり
- 新四国八十八ヶ所水崎廻り
- 八面神社農村舞台公演
- 拝宮農村舞台公演
- 木頭杉一本乗り大会
- わじき夏まつり
- 相生まつり

11

Nov.



平谷八幡神社例大祭

毎年11月に平谷八幡神社境内で行われる祭りで、顔におしろいを塗った少年や青年がだんじりのおはやしとともに練り歩き、神秘的な雰囲気が漂います。

10

Oct.



ナカまつり

道の駅鶯の里で開催されるイベントで、ステージや地元グルメなど那賀町の魅力を満喫できます。



平谷八幡神社

平谷地区に鎮座する歴史ある神社で、古くから地域の信仰を集めています。

11

Nov.



太刀踊り

五穀豊穡と家内安全を祈って舞う伝統芸能で、毎年11月1日に行われる和無田八幡神社秋祭りでは奉納されます。

8

Aug.



エキサイティング・サマー・イン・ワジキ

毎年8月に大塚製薬徳島ワジキ工場の野外ステージで開催される野外音楽フェス。若手アーティストの登竜門としても知られています。

12

Dec.



風車イルミネーション

年末から年始にかけて木沢風車にLED電飾が施され、冬の夜空を彩ります。

12

11

10

9

8

風車イルミネーション

上那賀地区産業文化祭

坂州農村舞台公演

鎌瀬農村舞台公演

木頭産業文化祭

マウンテンマラソン

ファガスの森

もみじ川温泉もみじまつり

太刀踊り

平谷八幡神社例大祭

辺川神社農村舞台公演

ナカまつり

北川舞台公演

丸太走り大会

木頭おどり

エキサイティング・サマー・イン・ワジキ

かみなか納涼祭

にぎわいあふれる みらいのなか



木頭ゆず

木頭ゆずは、香りの強さと品質の高さで全国的に知られる町を代表的するブランドゆずです。

ゆず酢

香り高い木頭ゆずを使ったゆず酢。幅広い料理に合う、地域ならではの調味料として親しまれています。



特産品



かきまぜ

地元の山菜や油揚げなどを混ぜ込んだ郷土寿司で、家庭の味として受け継がれています。

那賀町の自然の恵み、文化・伝統に育まれた特産品と地元住民の想いがにぎわいを生み出しています。

養殖クルマエビ

休校となった平谷小学校の給食室などを活用し、クルマエビ陸上養殖の実証実験を進めています。



鮎

那賀川で育った風味豊かな天然鮎が、ふるさと納税の返礼品としても親しまれています。



地域特産品開発の支援で産業振興

地域産業の振興を図るため、地域事業者を対象とした特産品開発や新規事業の支援を行っています。開発にかかる対象経費の2分の1を補助する「那賀町地域特産品開発チャレンジ事業等補助金」を設け、那賀町の地域資源を活用した新たな特産品開発や事業者のチャレンジを支えています。



ミライ・那賀

mirai・naka

那賀町には、全国的に有名なブランドゆずや郷土料理、地域の材料を使った加工品など様々な特産品があります。中には、重要文化財に指定された伝統技術で作られるものも。また、新たな特産品を開発する取組も進められており、さらなる魅力創出をめざしています。

那賀町を代表する特産品の数々が、各地域の文化や伝統と新たな魅力を伝えています。

文化や伝統を伝える 那賀町の逸品

相生晩茶

主に相生地区に伝わる独特な製法で作られるほのかな酸味とすっきりした味わいの希少なお茶です。その技法は国の重要無形民俗文化財に指定されています。



ふるさと納税

15のポータルサイトから受け付けており、寄附金は森林環境の保全や地域振興などに活用しています。木頭ゆずや相生晩茶、木工品など多彩な返礼品をそろえています。



山菜加工品

地元で採れたフキやイタドリなどの山菜を使い、一つ一つ手作りで生産されています。



はんごろし

もち米とうち米を半分だけつぶして作る郷土菓子で、きな粉の素朴な味わいが人気の相生地区名物です。



太布織

楮の繊維を手作業で糸にして織り上げる古代布で、その技法は国の重要無形民俗文化財に指定されています。



拝宮和紙

拝宮地区に伝わる楮(こうぞ)を原料とした和紙で、丈夫さとあたたかみのある風合いが特長です。



木工品

良質な木頭杉を活かした日用品から防災用の木粉簡易トイレまで、多様な木工品が作られています。

特産品がそろう地域の道の駅



道の駅 わじき

国道195号沿いにあるまちの玄関口。特産品販売や軽食の提供を行っており、手打ちうどんやジビエ料理などが楽しめます。



道の駅 鷺の里

西日本最長を誇る太龍寺ロープウェイ駅舎に併設する道の駅。レストランやカフェがあり、宿泊施設も隣接しています。



道の駅 もみじ川温泉

那賀川沿いの美しい景色を望みながら、源泉100%の温泉や宿泊、食事、買い物を楽しむことができます。

若者が希望を持てる みらいのなか

子育て

充実した子育て支援と
整った環境を提供する那賀町。
まちに暮らす若者たちは
希望に満ちています。



町内の認定こども園

わじき・あいおい・ひらだに・きとう
の4つの認定こども園があり、地域
の子育てを支えています。



あいおいこども園



きとうこども園



ひらだにこども園



わじきこども園

子育て支援センター

未就学児と保護者を対象に、交流や子育て相談、講座・イベントなどを開催し、地域の子育てを担っています。



希望が持てる 充実の子育て環境

町内には、4つの認定こども園が整備されており、安心して子どもを預けることができます。他にも、子育てに関する相談や保護者同士の交流ができる施設、子育てイベントなども実施しており、地域で子育てをしています。また、各種助成に加えて、令和7(2025)年から保育料の無償化が始まり、金銭的な支援も行っています。充実した相談体制や支援制度、イベントや施設など、若者が子育てに希望を持てる充実した環境が整っています。

地域と家族をつなぐ プログラム「保育園留学」

未就学の子どもと一緒に里山の暮らしを体験できるプログラムを実施。子どもは町内のこども園に通い、親は宿泊施設やコワーキングスペースを利用して、那賀町での仕事や暮らしを体験できます。自然や住民との交流を通して、子育て世帯の移住促進に取り組んでいます。



ミライ・那賀

mirai・naka

子どもと遊べる場も充実



相生森林文化公園 あいあいらんど

1万株のあじさいをはじめとする豊かな自然の中で木工体験やアウトドアを楽しめる森林公園です。



虹の丘公園

児童公園や野球場などを備えた大型公園で、大型複合遊具や滑り台など多彩な遊具がそろった三世代交流の場です。



親子deなかくる

那賀町最大級の親子参加型イベントで、ステージやマルシェ、キッチンカーなどが楽しめます。

若者が希望を持てる みらいのなか

教育

のびのびと学習やスポーツに取り組める環境を整備し、那賀町の未来を担う子どもたちの健全な成長を支えています。

子どもたちの 健やかな育ちを支える

町内には小学校3校、中学校3校に加えて、町内唯一の高等学校を1校設置しており、豊かな地域を活用した学習やICT教育を実施しています。また、那賀町の特徴でもある林業に関連する施設も整備し、木育や森林文化への理解を深めています。学習だけではなく、スポーツに取り組める施設や機会も提供しています。

地域の未来を担う子どもたちが健やかに育っていくために、心身ともにのびのびと成長できる教育環境を整えています。



町内中学校



町内小学校



那賀町山のおもちゃ美術館

令和5(2023)年に開館したミュージアムで、町産材を使った木育体験で、森林の魅力に触れることができます。



町立図書館・図書室

木頭町立図書館と鶯敷図書室の2施設を設置しており、地域住民の身近な学びの場として親しまれています。

相生森林美術館

木を使ったアートを展示する全国でも珍しい美術館。展示や講座などを通じて木の魅力を発信しています。



那賀町学校給食センター

町内の学校に給食提供を担う施設。子どもたちの健康を支え、安心安全な給食を作っています。



ミライ・那賀

子どもたちの「スポーツ」を支える

町内のスポーツクラブや中学校の部活動を補助金の交付によって支援しています。日頃の活動への補助に加えて、四国規模以上の大会に出場する際の費用を補助することにより、経済的負担を軽減し、積極的にスポーツに取り組める環境をつくり、子どもの運動能力の向上や精神的成長を支えています。



mirai・naka

ICT教育

町内すべての児童・生徒への端末の支給と校内の通信環境構築を進め、デジタル教材を活用したICT教育の充実に取り組んでいます。



ふるさと学習

地域の人と交流しながら、那賀町の自然や魅力を学ぶプログラムを町内の小中学校で実施しています。



放課後子どもクラブ

子どもたちの安全・安心な放課後の居場所づくりを目的に、公共施設等を活用した活動を各小学校区で実施しています。

放課後スポーツ広場

とくぎんトモニアリーナ那賀を会場に、町内小学校の児童を対象としてサッカーや野球などを体験できる、町教育委員会主催のスポーツ活動です。



とくしま・なか
カヌーセンター

川口ダム湖を活用したカヌー・ボート競技施設。予約制でカヌーの貸出などを行っています。

気軽にスポーツに取り組める環境



とくぎんトモニアリーナ那賀(那賀町総合体育館)アリーナやトレーニングルームなどを備えた総合体育館。災害時には避難所としても機能します。



いきいき百歳体操

地域の通いの場として町内50か所以上で展開されており、高齢者の筋力向上と介護予防の一助となっています。



フレイルサポーター

高齢者が虚弱になるのを防ぐため、地域のイベントや百歳体操の会場でフレイルチェックや啓発活動に取り組んでいます。

医療

福祉

高齢者が多く暮らす那賀町。だからこそ、すべての人がいきいきと元気に過ごせる環境の整備に取り組んでいます。

安心・安全・快適な
みらいのなか

各地域を支える医療施設



診療所(日野谷・木沢・木頭・北川)
町内の4つの診療所によって、地域住民が医療サービスを身近に受けられる体制が整えられています。



那賀町立上那賀病院
複数の診療科を備えた町内唯一の公立病院。30床の一般病床を有する地域医療の中核施設です。



移動する診療所 医療MaaSの活用

徳島県が導入したオンライン診療対応の車輛「医療MaaS」。県立海部病院を中心に那賀町を含む4町共同で実証運行を開始。集会所や患者の自宅を巡回してオンラインでつないだ医師と同乗した看護師がオンライン診療を行います。中山間地域でも適切な医療を提供するため、新しい体制づくりに取り組んでいます。

健診・検診

乳幼児健診の実施と、特定健診や各種検診などを推進することにより、すべての世代の健康をサポートします。



通所リハ



保健師の地域巡回



デイケア

リハビリ専門職による機能訓練を中心に、レクリエーションや入浴、食事などのサービスを提供しています。

すべての人が
イキイキ健康に暮らす

那賀町は全国的に見ても、高齢者の割合が高い地域です。そのため、健康づくりや生活支援の取組が充実。高齢者の健康づくりとして、各地域での体操や住民ボランティアによるフレイル予防の取組なども行っています。また、地域の医療機関に加

えて、すべての人への医療提供が難しい中山間地域の課題を解決するために、医療MaaSの活用を進めています。
那賀町に暮らすすべての人がイキイキと自分らしく、健康で快適に暮らせる環境づくりに取り組んでいます。

安心・安全・快適な
みらいのなか

防災

環境

那賀町の環境や
安全な暮らしを守るため、
持続可能なまちづくりと
災害への備えを進めています。



堤防事業

那賀川流域を中心に、堤防の整備
や河川の清掃などを県・町・地域
住民が連携して取り組んでいます。

消防団・消防署

町内に設置された消防本部と消防
団が連携し、災害への対応や予防
啓発活動に取り組んでいます。

地球温暖化対策実行計画

那賀町では、平成25(2013)年度に地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を策定し、庁舎の省エネ化や再生可能エネルギーの活用に取り組んでいます。



那賀町の豊かな環境を守り、未来へとつなげていくために、持続可能なまちをめざして取組を進めています。

那賀町の良好な環境を守るために、堤防や河川の整備を実施。また、那賀川に設置された県営坂州発電所を活用する地域新電力会社の開設や自然エネルギーについて学べる体験型施設が整備されるなど、持続可能なまちづくりを推進しています。

心地よく暮らせる
持続可能なまちへ



川口ダム自然エネルギーミュージアム

川口ダム湖畔にある県営の体験型施設。自然エネルギーや水素燃料電池の仕組みを楽しく学べます。



河川整備事業

那賀川水系河川整備計画に基づいた、安全な流域づくりに取り組んでいます。



スマート回廊エリア

川口ダム自然エネルギーミュージアムを中心とした周遊ルートで、温泉などの施設と自然景観を楽しめます。



エネルギーの地産地消

町内に地域新電力会社が開設され、エネルギーの地産地消に取り組んでいます。

災害への意識が高まっている近年では、防災も重要なまちづくりの視点です。那賀町では、住民参加の防災訓練を定期的を実施しています。また、災害に関する情報収集が簡単にできるアプリなども配信。それに加えて、町独自に消防本部を設置し、各地域の消防団と連携しながら災害時の迅速な対応をめざしています。

日頃からの準備によって、安心できる暮らしと緊急時の住民の安全を守っています。

住民の安全で安心な暮らしを守る

ミライ・那賀

防災力を高める 担い手を養成!

那賀町では、徳島県と徳島大学が連携して実施する防災士養成研修を活用し、地域防災を担う人材育成を進めています。また、「防災士養成研修及び資格取得補助金」を設け、資格取得にかかる費用の一部を助成。防災士資格を取得しやすい環境を整え、地域防災力の向上を図っています。



mirai・naka

那賀町防災アプリ

町が配信する緊急情報やお知らせを受け取れるほか、気象・災害情報の確認や避難所検索、安否登録・確認などがスマートフォンで行えるアプリです。



防災訓練

町内の各地区で住民主体の防災訓練を実施し、災害時の避難行動と情報伝達体制の強化に取り組んでいます。

未来へ導く みらいのなか

デジタル

大きな時代の変化の中で、
那賀町とそこに暮らす住民を
未来へと導くため、
様々な取組を進めています。

まちを未来へ導く デジタル化

那賀町では、より充実した未
来へと導くために、デジタル化
を推進しています。

林業をはじめとしたあらゆる
分野でのデジタル活用をめざ
し、様々な取組を行っています。
また、那賀町に暮らすすべての
人がデジタルを身近に活用で
きるように、デジタルサービス
の提供やスマホ教室などを実施
し、誰一人取り残されること
のない未来へと進んでいます。



林業DX

那賀町の主要産業でもある林業において、Wi-Fiや衛星通信を使った林業機械の遠隔操作などICTの実証を進め、急峻な現場での作業の安全性向上などに取り組んでいます。

那賀町デジタル 大作戦

スマホ教室 (あなたもデジタル講座)

那賀町内の各地域で開催される住民向けデジタル講座。スマホの基本操作や活用方法などを無料で学べます。



那賀町じぶん課

行政の手続きや暮らしに関する情報収集が行える住民専用のデジタルサービス。



自動運転バス

那賀町役場相生庁舎から鷲敷庁舎間を走行する自動運転レベル2のバス実証実験が行われ、公共交通の確保に向けた検証が進められています。



徳島県版ドローン特区
 自然環境などを活かしたドローン活用を進めており、ドローン特区に指定されています。



ドローン推進室

役場内に設置されたドローン専門の部署で、実証実験の企画やドローンマップなどの情報発信を通じて、産業振興と安全な飛行環境づくりに取り組んでいます。

現在、那賀町では「日本一ドローンが飛ぶまち」をスローガンに掲げ、ドローン活用を推進しています。全国でも珍しいドローン専門部署を開設し、様々な分野での実証実験やイベント開催によるまちおこしなどを実施。那賀町の魅力PRや交流人口の増加などにつながっており、さらなる活用をめざして取組を進めています。

人口密度が低い森林地域というドローンとの相性を活かし、魅力創出をめざしています。

**日本一ドローンが
 飛ぶまちをめざして**

ミライ・那賀

**ICTで要支援者の
 ケアの質を向上**

要支援・要介護の高齢者などを対象に、医療・介護・福祉に関する情報を管理・共有する「みまもるくん」を運用しています。医療・福祉・行政が連携した見守り体制を構築するとともに、蓄積した情報は災害時などの避難支援につながる仕組みとしても活用されています。



mirai・naka

NAKA DRONE RACING

町主催の室内ドローンレースで、ドローン推進と交流・観光振興を図る取組です。



NAKA DRONE FIELD

町が整備した屋外ドローン練習場で、申請すれば利用できる安全な飛行環境を提供しています。



他にも数多くのドローンスポットがあります

那賀町 みらい創造 総合戦略

那賀町の明るい未来を
創るために

那賀町みらい創造総合戦略は、Society5.0社会に対応し、那賀町らしき、那賀町ブランドをベースに置きながら、発展していくまちの「みらい」を描き、一人ひとりにやさしい持続可能なまちづくりに取り組んでいくための戦略、戦術として策定しました。地方創生と住民の幸福度向上に向けた具体的な施策体系を構築しています。

人口減少をゆるやかにし、住民の幸福度を増大させるため、5つの基本目標を設定して総合戦略に取り組んでいます。



基本理念

デジタルと豊かな自然が調和した
「もっと住みやすい」「もっと働きやすい」
那賀町に

ブランド

「かけめぐる感動」
まち、丸ごと大自然テーマパーク那賀町

コンセプト

1

那賀町に わくわくした気分で働ける 仕事をつくる。



林業の活性化・DX

単に雇用の場を創出するだけでなく、既存の農林業やサービス業、建設業なども含め、「那賀町で働きたい!」という積極的な姿勢で臨める職場をつくる必要があります。大自然テーマパークのわくわく感を職場でも感じられる、そんな既存産業や新規産業の働く場を創出します。特に若年女性が輝ける職場をつくるのが、転出防止策にとって極めて重要であり、スモールビジネスのインキュベーション(孵化)や誘致を推進します。また、既存産業の魅力化やDX推進などといったスマート化を図り、付加価値と労働生産性を高めます。

1 新しい仕事場の創出

- 1 スタートアップ及びベンチャー企業の孵化、誘致
- 2 スモールビジネスの孵化、誘致

2 既存産業の魅力化、スマート化

- 1 事業所の「今」を知るデータの整備
- 2 林業の活性化、DX推進
- 3 農業の活性化、DX推進
- 4 水産業への新たな挑戦
- 5 観光業の活性化
- 6 建設業、卸売業・小売業その他産業の充実



林業の活性化・DX



農業の活性化・DX



新たな水産業への挑戦

2

那賀町へ 新しい人の流れをつくる。



観光の魅力向上

本町への移住者を増やすためには、何らかの方法で那賀町に触れてもらうことが必要です。まちの魅力的な情報をしっかりと発信し、届けるべき人に届け、観光に訪れていただく、ふるさと納税に参加いただく、仕事の関係性をもつていただくなどにより、最終的には本町を好きになり、移住していただけるよう、緻密な計画設計が必要です。観光地としての魅力度向上による交流人口の増加、お試し移住環境の整備や産官学連携の強化などによる関係人口の増加、移住コンシェルジュの設置などによる移住定住者の増加に努めます。

1 交流人口を増やす

- 1 観光地としての魅力向上

2 関係人口を増やす

- 1 お試し移住環境の整備
- 2 産官学連携の強化
- 3 ふるさと納税の魅力化

3 移住定住者を増やす

- 1 移住コンシェルジュの設置
- 2 賃貸住宅の整備
- 3 移住者が魅力を感じるにぎわいのあるまちづくり



那賀町おためし住宅



保育園留学



民間賃貸住宅

3

那賀町が若い世代の
定住・結婚・出産・子育てに
希望を持てる地域となる。



ICT教育

本町が消滅可能性自治体から脱するためには、若年層の中でも特に女性が安心して住み続け、家庭を持てる環境を整えることが何よりも肝心であり、若い男女が本町で結婚したくなる仕組みが必要です。また、結婚するためには、一定の所得がないと踏みきれないという現実に対する考慮も必要です。所得の向上と出会い・結婚がしやすいまち、母になりやすいまち、子育てしやすいまちを具体的な施策の目標に定め、定住から子育てまで一連の仕組みを整えることで、若い世代が本町の暮らしに希望を持てるようになります。

1 所得の向上

- 1 働く場の所得を上げる

2 出会い・結婚がしやすいまち

- 1 出会いの場の創出と結婚支援策

3 母になりやすいまち

- 1 医療機関の整備や妊娠中のサポート
- 2 出産祝いの贈呈

4 子育てしやすいまち

- 1 地域全体で子どもを育てる仕組みづくり
- 2 スポーツを通じた健全な子育て環境
- 3 那賀高校の魅力化



スポーツに取り組める環境



子育て世帯へのおむつ支給



子育てイベントの開催

4

那賀町を
安心・安全・快適な
まちにする。



消防体制の整備

防災面や医療面においても本町は優れたまちづくりをめざす必要があります。特に高齢化率が向上している昨今、住民が安心して暮らせる持続可能なまちづくりの視点が欠かせません。イキイキ長生きできるまち、誰一人取り残さないまち、消防・防災・防犯対策が行き届いたまち、自然と調和した持続可能なまちを具体的な施策の目標に定め、一人ひとりの命と日常を守ります。自然災害や日常の事故・犯罪への備えを強化し、医療・福祉・交通・住環境などの充実を図り、誰もが安全で快適に暮らせるまちづくりを推進します。

1 Ⅰ イキイキ長生きできるまち

- 1 高齢者の見守りシステムとコミュニティの場をつくる
- 2 高齢者がいつまでも健康でいるための機会創出
- 3 定期的な健康診断を受ける仕組み・遠隔医療の仕組み

2 Ⅰ 誰一人取り残さないまち

- 1 誰一人取り残さない障がい者支援

3 Ⅰ 消防・防災・防犯対策が行き届いたまち

- 1 消防・防災体制の構築
- 2 防犯対策整備

4 Ⅰ 自然と調和した持続可能なまち

- 1 快適な住環境を確保するための施策
- 2 環境にやさしい持続可能なまちづくりのための施策

那賀町住民の わくわくした生活のための デジタル基盤構築



デジタルを活用した窓口

基本目標1〜4を実現するためにも欠かせないのが、デジタル基盤の構築です。Society5.0の考え方に則り、すべての施策についてデジタルを活用した高度で便利なものとし、それらを住民が使いこなせる体制を整え、誰一人取り残さない未来へ続くサステナブルなまちを創っていきます。住民サービスのスマート化のための基盤整備をはじめ、役場窓口におけるワンストップサービスの実現や申請書作成ロボットの導入、那賀町総合データ基盤AIプラットフォームの構築などに取り組み、デジタルを最大限に活用していきます。

1 手のひらの役所、書かない手続き、手続きDX

- 1 住民サービスのスマート化のための基盤整備
- 2 手のひらの役場、行かない窓口、書かない窓口へ
- 3 デジタルを使いこなしていただくためのサポート施策

2 那賀町総合データ基盤整備

- 1 那賀町総合データ基盤AIプラットフォームの構築



コンビニ交付



遠隔窓口



公式SNSの運用

20年のあゆみ

那賀町

一歩一歩着実に
歩んできた20年の歴史。
これらを礎に那賀町は
未来へと進んでいきます。

- H17 2005
- 那賀町開庁式(①)
 - 那賀町ケーブルテレビ相生地区放送開始 これにより那賀町全地区整備完了



① 那賀町開庁式

- H18 2006
- 蜂の巣団地完成(1棟15戸)【坂州地区】
 - 阿井小学校と鷺敷小学校が統合、鷺敷小学校に(校歌を新たに制作)
 - 那賀町地域包括支援センターを新設
 - 北海道釧路市(旧音別町)と友好都市提携



② 木沢トンネル開通

- H19 2007
- 那賀町木沢総合防災センター(木沢支所)完成
 - 一般国道193号木沢トンネル開通(②)



③ 川切地区集落排水施設供用開始

- H20 2008
- わじきこども園開園
 - わじき子育て支援センター開園

- H21 2009
- まちづくり交付金事業で百合工業用水(日量500m³)完成
 - 那賀町議会議生中継開始
 - もんてこい丹生谷運営委員会が「那賀町祭&中野建吉写真展 in品川」を開催し、寸劇を披露【きゅりあん品川総合区民会館】



④ 相生トンネル開通

- H27 2015
- 那賀町合併10周年
 - 子ども・子育て支援新制度開始により、「幼保連携型認定こども園わじきこども園」「幼保連携型認定こども園あいおいこども園幼児部(4〜5歳児)・保育部(0〜3歳児)」「保育所型認定こども園ひらだにこども園」「保育所型認定こども園きとうこども園」「きとうこども園分園きたがわこども園」となる
 - 旧あい幼稚園舎において「那賀町地域子育て支援センター」開設(⑥)



⑨ 林業ビジネスセンター開所式開催

- H28 2016
- 相生庁舎新庁舎完成
 - 那賀高校森林クリエイト科新設



⑩ エキサイティング・サマー・イン・ワジキ30周年

- H29 2017
- 木頭支所新庁舎完成
 - 一般国道195号「出合はず大橋」開通
 - 木頭地区に伝わる古代布の太布が、国の重要無形民俗文化財に「阿波の太布製造技術」として指定
 - 那賀町林業ビジネスセンター開所式開催(⑨)



⑪ 広域農道阿南丹生谷地区「新梁大橋」開通

- H30 2018
- とくしま・なかカヌーセンターオープン
 - 那賀町林業テクノスクール開講
 - デジタル防災行政無線(減災コミュニケーションシステム)町内全域で供用開始



⑫ 那賀川・床上浸水対策特別緊急事業(和食・土佐地区)完成

- R1 2019
- エキサイティング・サマー・イン・ワジキ【30周年】(⑩)

H22 2010

- 八面神社農村舞台50年ぶりの復活公演
- 延野保育園新築開園
- 川切地区集落排水施設供用開始(8)



8 川切地区集落排水施設供用開始

H23 2011

- 阿南市と那賀・美波両町による定住自立圏の形成に関する協定を締結
- 木頭小・中学校校舎完成(2学期から授業開始)
- 平谷保育園新築移転
- 那賀町地域交流センター完成
- 紅葉シーズンに合わせて町内全域で第1回「ナカまつり」開催



6 本庁舎完成

H24 2012

- 一般県道竹ヶ谷鷲敷線相生トンネル開通(4)
- 那賀町衛生センター(汚泥再生処理センター)供用開始
- 海部消防組合那賀上流支署開署式 救急業務開始
- 一般国道195号折宇トンネル開通



7 那賀町消防本部設立

H25 2013

- 那賀町地域おこし協力隊発足
- 美馬市木屋平と那賀町木沢を初めて車道で結ぶ森林基幹道木屋平木沢線開通(5)



8 那賀町地域子育て支援センター開設

H26 2014

- 剣山国定公園が指定50周年
- 那賀町本庁舎完成(6)
- 那賀町消防本部設立、那賀町消防署設置(7)
- 台風11号による大規模な浸水被害により災害救助法が適用(全壊5世帯、大規模半壊25世帯、半壊148世帯、床上浸水125世帯、床下浸水97世帯)

R2 2020

- 那賀町消防本部上流出張所新庁舎運用開始
- 那賀町クリーンセンター完成
- 上那賀支所新庁舎完成



13 長安口ダム本体改造完成式開催

R3 2021

- 阿波晩茶の製造技術が国の重要無形民俗文化財に指定される
- 広域農道 阿南丹生谷地区「新梁大橋」開通(11)
- 那賀川・床上浸水対策特別緊急事業(和食・土佐地区)完成(12)
- 東京2020オリンピック聖火リレー実施
- 【東京2020オリンピック・パラリンピック】ドイツカヌー代表チームが事前キャンプを実施



14 那賀町山のおもちゃ美術館オープン

R4 2022

- 那賀町学校給食センター竣工(鷲敷・相生学校給食センター統合)
- 「阿波の吹筒煙火」(特定非営利活動法人那賀町吹筒煙火保存会)が徳島県の無形民俗文化財に指定
- 長安口ダム本体改造完成式開催(13)
- 株式会社博報堂プロダクツと包括連携協定を締結



15 大相撲那賀場所開催

R5 2023

- 「那賀町山のおもちゃ美術館」オープン(14)
- 那賀町木材加工販売施設チップ工場稼働

R6 2024

- 那賀町総合体育館が完成(株)徳島大正銀行が那賀町総合体育館の施設命名権を取得し、「とくぎんトモニアリーナ那賀」となる(命名権・那賀町初)
- 秋巡業 大相撲那賀場所開催(15)
- バスケボールB3リーグ戦 徳島ガンバロウズVS 香川ファイブアローズ公式戦初開催



16 町制20周年記念式典開催

R7 2025

- 那賀町町制20周年(16)
- 相愛館(那賀町相生地域交流センター)完成

なかマップ

NAKA MAP

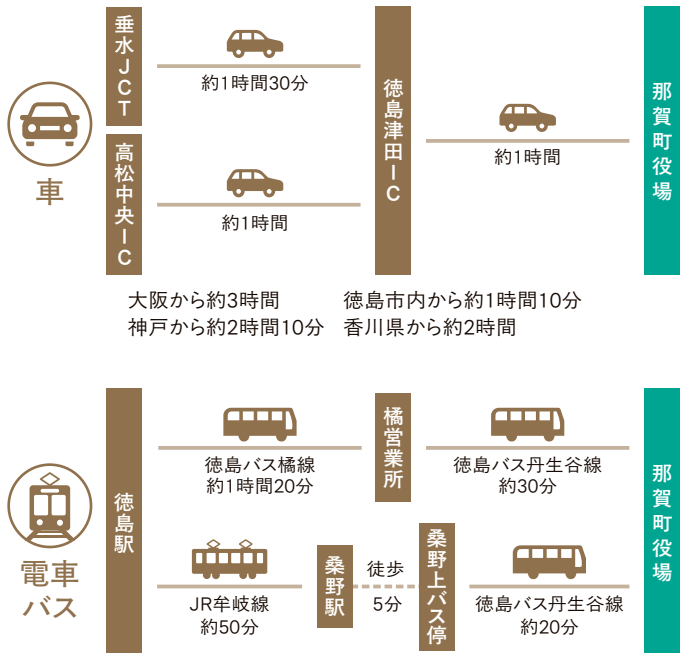
美しい自然風景と多種多様な施設、
住民のあたたかさがあふれる那賀町。
町内に広がる魅力的なスポットを紹介します。



① 那賀町役場



ACCESS





那賀町イメージキャラクター
ゆずばあちゃん

木頭ゆず収穫の熱気と香気が融合反応して誕生した妖精。老若男女から愛されている「ゆずばあちゃん」は言葉を発しないので、いつも心の中で『いけるいける』と優しく励ましてくれています。

NAKA MAP



② 鷺敷野外活動センター



③ わじきラインキャンプ村



④ 相生包括ケアセンター



⑤ 那賀町クリーンセンター



⑥ 那賀町衛生センター



⑦ 木沢歴史民俗資料館



⑧ ファガスの森高城



⑨ 山の家「奥槍戸」



那賀町町勢要覧

発行年月：令和8年3月

発行：那賀町

〒771-5295 徳島県那賀郡那賀町和食郷字南川104番地1

TEL：0884-62-1121 FAX：0884-62-1177

<https://www.town.tokushima-naka.lg.jp/>